公開用

AMED

代表機関：鹿児島大学

課題名　極細径内視鏡がもたらすリンパ管診療のパラダイムシフト

分担機関：株式会社　住田光学ガラス、岡山大学

研究期間：令和7年4月～令和8年3月

研究目的・内容

- リンパ管疾患の患者さんに対する、リンパ管静脈吻合術の治療効果を飛躍的に向上することを目的とする。
- 四肢末梢のリンパ管に挿入する極細径内視鏡を用いて、吻合の補助となる機器の開発を行う。

取り組み

- リンパ管静脈吻合時に、有効な吻合を補助し、内腔を直接観察できる機器を開発します。

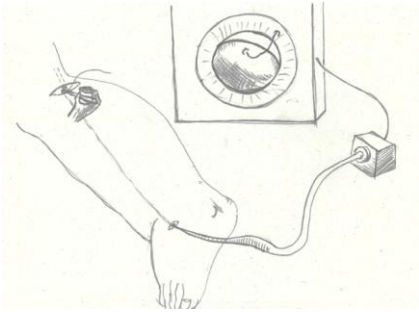
今後の展開

- 医療機器承認を目指して、研究の妥当性を確かにしたのち、社会実装に向けて開発を進めます。

クラス分類：2

極細径内視鏡

シャープペンシルの芯よりも細い内視鏡は、末梢リンパ管内への挿入を可能にします。

小型コンソール

簡便なコンソールと併用することで、大型機器の設置を必要としません。